



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 スタートトゥデイ  
コード番号 3092 URL <http://www.starttoday.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 前澤友作

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 柳澤孝旨

TEL 043-213-5171

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	13,773	34.5	3,366	36.4	3,352	36.0	2,105	54.4
23年3月期第2四半期	10,243	53.8	2,468	103.9	2,465	102.1	1,363	95.2

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 2,082百万円 (52.9%) 23年3月期第2四半期 1,361百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	19.16	19.11
23年3月期第2四半期	12.42	12.38

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,146	11,079	56.7
23年3月期	16,233	9,533	58.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 10,858百万円 23年3月期 9,531百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.50	10.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,200	35.3	8,560	46.3	8,570	46.1	4,800	54.7	43.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

((株)クラウンジュエル、ZOZOTOWN H  
新規 3社 (社名) ONGKONG CO.LIMITED、走走城(上 海)電子商務有限公司、除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	109,863,900 株	23年3月期	109,828,800 株
24年3月期2Q	— 株	23年3月期	— 株
24年3月期2Q	109,856,980 株	23年3月期2Q	109,763,527 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.5「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料、動画については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・平成23年10月31日(月)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

・平成23年2月1日付で普通株式1株につき300株の割合で株式分割しております。そのため、平成23年3月期第2四半期の1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び期中平均株式数については、当該株式分割が前期首に行われたと仮定して算定した数値を表示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	5
2. サマリー情報(その他)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による影響が徐々に解消しつつあり、回復基調が見られた一方で、ギリシャの債務問題を発端とした欧州の金融危機、それに伴う過度な円高の進行など国際経済の変調の影響を受け、依然として景気の先行きが不透明な状況で推移いたしました。当社グループが軸足をおきますアパレル業界におきましても、景気や雇用への不安から消費者の生活防衛意識が高まり、購買心理は低迷を続けており、企業を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の中、当社グループにおきましては、引き続き主要事業であるEC事業に注力し、「ZOZOTOWN」等のECサイトの認知度と顧客サービスの向上に努めてまいりました。具体的には、CFM (Customer Friendship Management : 企業とお客様が友達のように) という目標を掲げ、返品受け付けの開始、ポイント還元率のアップ(1%から3%)等のさまざまな取り組みを行ってまいりました。加えて、お客様に最適なサービスを提供するため、1 to 1マーケティングを強化しており、お客様それぞれのライフサイクル、誕生日や入会日等のイベントに基づき最適化された多岐にわたるパーソナライズドメールを日々配信しております。その結果、メルマガ開封率及びメルマガからの購入率が向上いたしました。また、セール時期にはテレビコマーシャル等の広告宣伝を積極的に行っており、サイト認知度の向上、新規会員の獲得に大きく寄与いたしました。

一方、商品供給面の強化も継続して積極的に行っており、「GLOBAL WORK」「Columbia」「CECIL McBEE」等、カジュアル系、アウトドア系、ギャル系とバラエティに富んだテイストの83ショップが新たにオープンし、第2四半期連結累計期間としては過去最多の出店数となりました。これにより、平成23年9月末時点の総ショップ数は、「ZOZOTOWN」「ZOZOVILLA」と合わせて321ショップとなり、幅広い年齢、趣向のお客様のニーズに応えられるようになっております。なお、「ZOZOTOWN」オリジナルセレクトショップに関しましては、取扱商材のテイストごとに再編を行い、すべてのショップ名を、「ZOZO」を冠したものに變更し、「ZOZOTOWN」オリジナルセレクトショップとしての独自性を強めております。

また、平成23年9月末時点の「ZOZOTOWN」の会員数は3,698千人(前連結会計年度末比565千人増)、アクティブ会員(注1)数は1,515千人(同298千人増)となっております。なお、会員数及びアクティブ会員数には、平成23年6月より開始したゲスト購入制度(注2)を利用して、会員登録を行わずに商品を購入したゲスト購入者126千人が含まれております。

メーカー自社EC支援事業におきましては、既に支援しておりました14社に加えて、「ZOZOTOWN」においても人気のブランドである「nano・universe」「AMERICAN RAG CIE」「TOMMY HILFIGER」等5社の自社ECサイト支援業務を新規に獲得することができました。

海外展開におきましては、平成23年5月に海外顧客向けのグローバルサイト「ZOZOTOWN.com」を開設するとともに、平成23年6月には中国香港にZOZOTOWN HONGKONG CO., LIMITEDを設立、その後平成23年8月には中国上海に走走城(上海)電子商務有限公司を設立し、その動きを本格化させております。

さらに国内事業におきましても、持分法適用関連会社であった(株)クラウンジュエルの株式を平成23年6月に追加取得し完全子会社としており、事業、収益モデルの多角化へ積極的に取り組んでおります。

以上により、当第2四半期連結累計期間の売上高は13,773百万円(前年同期比34.5%増)、営業利益は3,366百万円(同36.4%増)、経常利益は3,352百万円(同36.0%増)、四半期純利益は2,105百万円(同54.4%増)となりました。

(注1) アクティブ会員：過去1年以内に1回以上購入した会員

(注2) ゲスト購入制度：会員登録を行わずに商品が購入できるサービス

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、各セグメントの売上高、営業利益はセグメント間取引消去前の数値を表示しております。

### ①EC事業

EC事業セグメントにおきましては、ECサイト「ZOZOTOWN」の運営及びアパレルメーカー自社EC支援事業を行っております。当第2四半期連結累計期間におきましては、ストア運営管理事業の商品取扱高（EC事業セグメントにおける販売価格ベースの取扱高）が前年同期比56.7%増と高い伸び率で成長を続けており、売上高は13,601百万円（前年同期比32.8%増）、営業利益は3,417百万円（同38.5%増）となりました。

EC事業セグメント内の各事業部門別の業績は以下のとおりであります。

#### （ストア企画開発事業）

平成23年9月末現在、ストア企画開発事業では「ZOZOTOWN」内の41ショップを運営しており、当第2四半期連結累計期間の売上高は5,808百万円と前年同期比254百万円の増収（前年同期比4.6%増）、売上高全体に占める割合は42.2%（前年同期54.2%）となりました。また、同期間における商品取扱高は、商品売上高と同額となりますが、商品取扱高全体に占める割合は17.0%（前年同期23.8%）となりました。

#### （ストア運営管理事業）

平成23年9月末現在、ストア運営管理事業では「ZOZOTOWN」内の280ショップを運営しており、当第2四半期連結累計期間の売上高（受託販売手数料）は6,772百万円と前年同期比2,686百万円の増収（前年同期比65.7%増）、売上高全体に占める割合は49.2%（前年同期39.9%）となりました。また、同期間における商品取扱高は25,384百万円と前年同期比9,184百万円の増加（前年同期比56.7%増）、商品取扱高全体に占める割合は74.4%（前年同期69.3%）となりました。

#### （メーカー自社EC支援事業）

平成23年9月末現在、メーカー自社EC支援事業では19社のECサイトを受託・運営しており、当第2四半期連結累計期間の売上高（受託販売手数料）は779百万円と前年同期比371百万円の増収（前年同期比91.0%増）、売上高全体に占める割合は5.7%（前年同期4.0%）となりました。また、同期間における商品取扱高は2,949百万円と前年同期比1,327百万円の増加（前年同期比81.9%増）、商品取扱高全体に占める割合は8.6%（前年同期6.9%）となりました。

#### （その他の事業）

その他の売上として、「ZOZONAVI」掲載ショップの特集ページ掲載サービス等からなるメディア事業、提携カードである「ZOZOCARD」でのキャッシング収入及び当社サイト以外でのショッピングに関する手数料を受領するカード事業並びに各ブランドがテナント出店する際の初期出店料及びメーカー自社EC支援事業に係るWEBページ製作業務料等があります。当連結会計年度におけるその他の売上高は241百万円と前年同期比46百万円の増収（前年同期比23.6%増）、売上高全体に占める割合は1.8%（前年同期1.9%）となっております。

### ②オークション事業

オークション事業セグメントにおきましては、オークションサイト「CROWN JEWEL」を運営しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は、168百万円となっております。

### ③その他

その他のセグメントにおきましては、アパレル商材の企画、販売事業を運営しております。当第2四半期連結累計期間の売上高は、5百万円となっております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ①資産、負債及び純資産の状況

## (資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,133百万円増加（前年同期比14.3%増）し、17,030百万円となりました。主な増加要因としては、現金及び預金の増加額890百万円、売掛金の増加額1,259百万円などによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ779百万円増加（同58.3%増）し、2,115百万円となりました。主な増加要因としては、工具、器具及び備品の増加額120百万円、のれんの増加額716百万円などによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて17.9%増加し、19,146百万円となりました。

## (負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ1,306百万円増加（前年同期比21.0%増）し、7,541百万円となりました。主な増加要因としては、受託販売預り金の増加額1,059百万円、買掛金の増加額181百万円、未払金の増加額132百万円などによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ60百万円増加（同12.9%増）し、524百万円となりました。主な増加要因としては、退職給付引当金の増加額67百万円などによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて20.4%増加し8,066百万円となりました。

## (純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ1,545百万円増加（前年同期比16.2%増）し、11,079百万円となりました。主な増減要因としては、四半期純利益の計上による利益剰余金の増加額2,105百万円、少数株主持分の増加額218百万円、剰余金の配当による減少額768百万円などによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末から390百万円増加し、10,430百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とその要因は以下の通りです。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は1,737百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益3,555百万円の計上に加え、受託販売預り金の増加額1,059百万円等の増加要因があったこと、一方、主な減少要因としては売上債権の増加額1,177百万円及び法人税等の支払額1,749百万円があったこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は773百万円となりました。これは有形固定資産の取得による支出169百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出531百万円があったこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は534百万円となりました。これは、少数株主からの払込みによる収入232百万円、配当金の支払額767百万円があったこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におきましては、返品受け付けの開始、ポイント還元率のアップ及びゲスト購入制度の導入等の顧客サービス向上施策が奏功し、また一方で83店舗の新規ショップがオープンし商品供給面が強化されたことにより、商品取扱高、売上高は概ね計画通りに推移いたしました。加えて、販売管理費に関しまして、上記施策に伴いポイント関連費用の増加があったものの、当初見込んでいた商品取扱高の増加による人件費、物流費用等の増加がスケールメリットにより抑制されたことが寄与し、営業利益、経常利益及び四半期純利益については当初発表した業績予想を上回る結果となりました。

しかしながら、通期業績予想につきましては、広告宣伝及びポイント関連の販売促進施策の積極的な実施を予定していること、国際経済の変調により景気の先行きが不透明な状況にあること、さらには消費者の購買心理が未だ低迷を続けている状況を鑑み、平成23年4月27日に発表した平成24年3月期の通期連結業績予想数値に変更はありません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

前連結会計年度末において当社の持分法適用関連会社であった(株)クラウンジュエルを、平成23年6月に株式の追加取得を行い完全子会社化したことに伴い、連結の範囲に含めております。

また、平成23年6月に中国香港に設立いたしましたZUZOTOWN HONGKONG CO., LIMITED及び平成23年8月に中国上海に設立いたしました走走城(上海)電子商務有限公司を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,539,926	10,430,599
売掛金	3,180,863	4,440,482
有価証券	500,000	—
商品	1,071,428	1,355,528
その他	604,725	803,819
流動資産合計	14,896,943	17,030,429
固定資産		
有形固定資産	523,315	663,473
無形固定資産		
のれん	—	716,549
その他	257,447	214,720
無形固定資産合計	257,447	931,269
投資その他の資産	555,759	521,137
固定資産合計	1,336,522	2,115,880
資産合計	16,233,465	19,146,309
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	577,958	759,363
受託販売預り金	2,655,950	3,715,721
未払法人税等	1,776,216	1,589,113
賞与引当金	97,698	119,492
ポイント引当金	396,284	571,834
その他	730,814	786,359
流動負債合計	6,234,922	7,541,885
固定負債		
退職給付引当金	225,200	293,089
役員退職慰労引当金	137,207	—
資産除去債務	102,442	114,178
その他	—	117,649
固定負債合計	464,849	524,916
負債合計	6,699,772	8,066,802
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,358,693	1,359,282
資本剰余金	1,326,890	1,327,471
利益剰余金	6,849,700	8,185,938
株主資本合計	9,535,284	10,872,692
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,320	△1,629
為替換算調整勘定	—	△12,880
その他の包括利益累計額合計	△3,320	△14,510
新株予約権	1,729	2,953
少数株主持分	—	218,371
純資産合計	9,533,693	11,079,507
負債純資産合計	16,233,465	19,146,309

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	10,243,812	13,773,182
売上原価	3,628,138	3,648,986
売上総利益	6,615,674	10,124,195
販売費及び一般管理費	4,147,422	6,757,357
営業利益	2,468,251	3,366,837
営業外収益		
受取利息	5,615	4,547
受取配当金	489	310
その他	1,938	1,871
営業外収益合計	8,044	6,729
営業外費用		
為替差損	7,812	14,233
持分法による投資損失	2,854	6,653
営業外費用合計	10,666	20,887
経常利益	2,465,629	3,352,679
特別利益		
投資有価証券売却益	—	5,443
段階取得に係る差益	—	207,631
特別利益合計	—	213,074
特別損失		
固定資産除売却損	60,859	10,371
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,440	—
特別損失合計	83,299	10,371
税金等調整前四半期純利益	2,382,329	3,555,383
法人税、住民税及び事業税	1,096,875	1,562,700
法人税等調整額	△78,090	△112,248
法人税等合計	1,018,785	1,450,451
少数株主損益調整前四半期純利益	1,363,543	2,104,931
少数株主損失(△)	—	△108
四半期純利益	1,363,543	2,105,039

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,363,543	2,104,931
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,919	1,690
為替換算調整勘定	—	△24,423
その他の包括利益合計	△1,919	△22,733
四半期包括利益	1,361,624	2,082,197
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,361,624	2,093,849
少数株主に係る四半期包括利益	—	△11,651

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,382,329	3,555,383
減価償却費	64,610	116,029
のれん償却額	—	37,713
固定資産除売却損益(△は益)	60,859	10,371
段階取得に係る差損益(△は益)	—	△207,631
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,705	21,793
ポイント引当金の増減額(△は減少)	56,462	172,018
退職給付引当金の増減額(△は減少)	25,859	67,889
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	11,633	△137,207
受取利息及び受取配当金	△6,105	△4,857
為替差損益(△は益)	7,720	14,233
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	22,440	—
売上債権の増減額(△は増加)	△138,361	△1,177,667
たな卸資産の増減額(△は増加)	△47,373	△222,367
仕入債務の増減額(△は減少)	△29,681	114,204
受託販売預り金の増減額(△は減少)	144,528	1,059,771
未払金の増減額(△は減少)	△106,914	106,060
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,697	△105,158
その他	△84,582	61,412
小計	2,343,433	3,481,990
利息及び配当金の受取額	5,983	4,722
法人税等の支払額	△1,025,524	△1,749,481
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,323,892	1,737,232
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△97,671	△169,114
無形固定資産の取得による支出	△25,083	△43,868
関係会社株式の取得による支出	△95,150	—
投資有価証券の取得による支出	—	△50,000
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△531,365
その他	△3,468	21,060
投資活動によるキャッシュ・フロー	△221,373	△773,288
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	624	351
配当金の支払額	△463,249	△767,032
少数株主からの払込みによる収入	—	232,175
財務活動によるキャッシュ・フロー	△462,625	△534,505
現金及び現金同等物に係る換算差額	△7,720	△38,764
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	632,172	390,672
現金及び現金同等物の期首残高	7,160,047	10,039,926
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,792,220	10,430,599

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)  
該当事項はありません。